

第3学年 国語科学習指導案

指導者

1 単元名 場面の様子を想像しながら読もう「ちいちゃんのかげおくり」

2 単元目標

- ひとりぼっちになったちいちゃんが家族と会えると信じてかげおくりをする様子を、叙述をもとに想像しながら読み、平和について感想をもつことができる。
- ひとりぼっちになってもかげおくりをするちいちゃんの様子や気持ちが分かる叙述をもとに、自分の読み取りと友だちの読み取りを比べて、ちいちゃんの気持ちについて自分の考えを深めることができる。
- ちいちゃんの様子や気持ちが分かる叙述をもとに、ちいちゃんの気持ちを考えていくことを通して、「自分が人物だったらどうするか考えて読む」という読解するためのスキルや、「似た言葉を比べて読む」「場面と場面を比べて変化したことを探し出す」などの「比べる」という読解するためのスキルを中心に、読み取りに必要な技能を身に付けることができる。

3 指導観

- 本学級の児童は、一学期に「きつつきの商売」や「三年とうげ」などで読解するためのスキルである「題名を読む」「書き出しを読む」「人物像を表すキーワードを見つける」から読み通しの目をつくり、「会話文を読む」「人物の行動や気持ちの変化を読む」「場面と場面を比べて、変化したことを探し出す」などのスキルを習得しながら学習してきている。しかし、話の筋を大まかに捉えることはできても、言葉や文章から場面を読み取ったことをもとに、想像したり、自分の体験と重ねたり、人物の気持ちについて自分の考えを書いたりすることが難しい傾向にある。また、「かいけつゾロリ」などの本を読む子どもは多いが、戦争に関する本についてはあまり読んでいない。
- 本単元は、「場面」についてよりよく理解し、情景や登場人物の様子・心情について叙述に基づいて想像して、戦争時を描いた作品世界に迫ることを主なねらいとしている。家族でした「かげおくり」、兄と二人でした「かげおくり」、そして最後にひとりでした「かげおくり」の三つの「かげおくり」をした状況を考えながら読み深めることができる。主人公は幼い女の子であり、父や母、兄とのかかわりを中心に書かれているので、子どもたちにとって身近に考えられる親しみやすい作品であると考え。

戦争については、後世に伝えていかなければならないが、戦争体験者がだんだん少なくなってきた現代において大切なのは読み物教材、視聴覚教材、等となってくる。子どもにも戦争の恐ろしさ、当時の人たちの気持ちが分かりやすく書かれている本教材は稀少価値があるのであり、意義深い。さらに、小学生が国語科学習の中で学ぶ戦争を取り扱った教材自体も少なくなってきたため、本教材を取り扱うことは、このことからやはり意義深い。
- 本単元の指導にあたっては、戦争体験がなく、戦争時の生活や空襲の恐ろしさなどが分からない子どもたちが、戦争時の状況等を理解するのは難しいため、読解するためのスキルをもとに、戦争に巻き込まれ、幸せに生きることができなかつたちいちゃんの様子を中心に読んでいくことで、戦時中の様子、当時の人々の様子や気持ちについて子どもたちが考えることができるようにする。

自分がちいちゃんだったらどうするかを考えたり、比べたりすることで、戦争の怖さ、恐ろしさについて考え、平和についての感想をもつことができるようにしたい。また、話し合いを行わせることにより、より豊かに様子や気持ちを想像し確かな読解力を持った子どもを育てていく。「出会う」「高める」「味わう」の3段階で、読解するためのスキルを意識させながら読み、話し合いを通して登場人物に対する自分の考えを見直し深めさせたい。先ず「出会う」段階では、「題名を読む」や「書き出しの文を読む」「人物を表すキーワードを見つける」などの読解スキルを活用して「ちいちゃんのかげおくり」という題名からちいちゃんが主人公であることやかげおくりってどんなものだろう、など、話への興味、関心をもたせる。そして冒頭から読み通しの目「ちいちゃんのかげおくりってどんなかげおくりなのだろう」を作る。そして「人物・時・場所を読む」「主人公のしたことを抜き出す」などの読解スキルを活用し、

話のあらすじを順番に押さえながら、ちいちゃんの気持ち分かる言動をとらえ、読み通しの目の答えをまとめさせる。このとき、学級としての答えを作るのではなく、あくまで自分の読みの答えを作り、それをもとに全体で交流し、友だちの考えを「聞き合う」、そして、自分の考えを見直し、付加修正するということを大切にする。そして、一～四の場面でのちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、家族に会いたいというちいちゃんの思いの強さを各場面で読み確かめる計画を立てる。

次に、「高める」段階では、学習計画に沿って、読み通しの目の答えを読み確かめていく。そのために「くり返してある言葉を読む」「場面と場面を比べて、変化したことを探し出す」「似た言葉を比べて読む」などの読解スキルを習得、活用しながら、学習プリントを用いて、各場面毎にちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめていく。また、作品中の挿し絵を手がかりに文章と比べさせながらちいちゃんの心情をつかませる。それぞれの場面の重要な描写を追っていくことで、場面の様子を想像させたり、その時の心情を読み取らせたりする。また、戦争に関するキーワードに注目させ、その意味をつかませることで、場面の様子やちいちゃんや家族の心情をより深く感じとらせたい。3つの「かげおくり」の状況を絵や文で比較させて、しっかりと場面の様子の変化やちいちゃんの心情の変化を把握させる。そして、学習プリントに書いたちいちゃんの気持ちをもとに、話し合いをしたり、音読を工夫させたりして読みを確かめていく。

最後に「味わう」段階では、戦争や平和に関する小さな子どもが出てくる話で同じ作者の作品である「おはじきの木」を読み聞かせ、作者がどんなことを伝えたかったのかを考えさせたい。「ちいちゃんのかげおくり」と「おはじきの木」で似ているところや異なるところを見つけ、イメージマップを作ることで、あまんきみこさんの伝えたいことを話し合わせていきたい。

4 学習計画（全17時間）

段階	時	学習活動と内容	教師の支援	読解スキル
出 会 う	1 / 17	1 題名と冒頭から読み通しの目をつくる。 ○ 題名を読み、どんな物語か考える。 ・小さい女の子の話かな？ ・どんな遊びかな？ ・いつするのか？ ・どこですののかな？ ・どんなかげおくりかな？	○「ちいちゃんのかげおくり」という限定の「の」に着目させ、特別なものであることに気づかせる。	題名を読む。
	2 / 17	○ 冒頭（1の場面）を読んで題名とをつないで、読み通しの目をつくる。 読み通しの目 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ちいちゃんのかげおくりってどんなかげおくりなのだろう。</div>	○ふたつのかげおくりの違いに気づかせる。 ○課外でかげおくりをして遊ぶ。	書き出しの文を読む 人物像を表すキーワードを見つめる。

3 / 17	<p>2 全文を読み、読み通しの目の答えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時や場の設定・登場人物などをおさえながら場面分けをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・時や場の設定が分かる言葉にサイドラインを引く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈予想される子どもの答えの傾向〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族に会えたうれしいかげおくり。 ・ 一人でする悲しいかげおくり。 </div>	<p>○挿絵や1行空き、時間を表す言葉に目を向けさせる。</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人物・時・場所を読む。</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">行と行の間や時間を表す言葉から場面を分ける。</p>
4 / 17	<p>○ 各場面のちいちゃんがしたことを簡単に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリントにまとめる。 <p>→戦争中の生活は写真や絵で確かめる。</p>	<p>○ちいちゃんが登場しないのに五の場面があることに着目させる。</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主人公のしたことめき出す。</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">あらすじを読む。</p>
5 / 17 6 / 17	<p>3 読み通しの目の答えを話し合い、読み確かめの学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プリントをもとに読み通しの目の答えを発表し、友達の答えと比べて見直す。 <p>○ 各場面ごとに、ちいちゃんの気持ちを読み確かめるためのめあてを作る。読み確かめること</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① はぐれてしまった時のちいちゃんの気持ち。</p> <p>② 一人で家族をまっている時のちいちゃんの気持ち。</p> <p>③ 一人でかげおくりをするちいちゃんの気持ち。</p> <p>④ 家族に会えたちいちゃんの気持ち。</p> <p>⑤ ちいちゃんのかげおくりってどんなかげおくりだったのか。</p> </div> <p>○ 意味の分からない言葉などを調べる。</p>	<p>○「うれしい」とか「悲しい」とかは誰が感じているものか、立場の違いを明らかにさせる。</p> <p>(出征、先祖、つぶやく、聞き返す、たずねる、せつめい、目を落とす、たすき、いくさ、しょういだん、ぼくだん、くうしゅうけいほう、うず、はぐれる、はず向かい、こらえる、ざつのう、ほしいい、ぼうくうごう、ふみしめる、など)</p> <p>○国語辞典を進んで活用させるようにする。</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主人公のしたことめき出す。</p>
高め る 7 / 17	<p>4 読みを確かめる。</p> <p>(1) 2の場面を読み確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 空しゅうでお母ちゃんやお兄ちゃんとはぐれてひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを読み確かめよう。</p> </div> <p>○ おかあさんとはぐれてしまったちいちゃんの気持ちが分かる言葉・文章にサイドラインを引き書き込みをして、意見を交流する。</p>	<p>○ダッシュに続く言葉を考え、ちいちゃんたちが炎から逃げる様子を想像させる。</p>	

8 / 17	<p>○ ちいちゃんの気持ち分かる言葉・文章をもとに、意見を交流する。</p> <p>・「お母ちゃん」というさげびの違いを考える。 「お母ちゃん、お母ちゃん」 お母ちゃんとはぐれて、おかあちゃんを探そうとしている。 一生懸命に見つけようとしている声。</p> <p>「お母ちゃん」 お母ちゃんらしい人 お母ちゃんかもしれない。 やっと会えた。</p> <p>・「ひとりぼっちになりました」と「たくさんの人の中」をつないで考えて、ちいちゃんの気持ちを考える。</p> <p>○ ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを考えてふきだしを書く。</p> <p>・ひとりぼっちになったちいちゃんは、さみしくて不安で、はやくお母さんやお兄ちゃんに会いたいと思っている。</p> <p>○ ちいちゃんの気持ちを読み取り、音読する。</p> <p>○ 本時学習を振り返り、読み取りプリントに書きまとめる。</p>	<p>○ さみしくて不安なちいちゃんの気持ちを読み深めさせる。</p> <p>○ ちいちゃん的心情の変化をとらえた上で、「お母ちゃん」とさげぶ時の読み方を工夫させる。</p>	<div data-bbox="1326 174 1465 416" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> くり返してあ る言葉を読み こむ </div> <div data-bbox="1326 450 1465 723" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 自分が人物だっ たらどうするか 考えて読む。 </div>
9 / 17	<p>(2) 3の場面を読み確かめる。</p> <div data-bbox="341 1496 1219 1572" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ○ お母ちゃんとお兄ちゃんを一人で待っているちいちゃんの気持ちを読み確かめよう。 </div> <p>○ 防空壕でお母さんとお兄ちゃんの帰りを待つちいちゃんの気持ち分かる言葉・文章にサイドラインを引き、書き込みをする。</p>	<p>○ おばさんが手をつないでくれたこと、家族4人で手をつないだことを比べ、それぞれの場面の状況でちいちゃん的心情が異なることをとらえさせる。</p> <p>○ 「くもった」「暗い」から、ちいちゃんが目を覚ましたとき、眠るときの心細さを想像させる。</p>	

10 / 17	<p>○ ちいちゃんの気持ちが分かる言葉・文章をもとに、意見を交流する。</p> <p>・ 「深くうなずきました」と「また深くうなずきました」を比べて考える。</p> <p>・ 「食べました」と「かじりました」を比べて考える。</p> <p>・ うなずく様子や食べている様子をつないで考える。</p> <p>○ 「きっと帰ってくるよ」と思っているちいちゃんの思いを考えて発表する。</p> <p>・ お母さんとお兄ちゃんはきっと帰ってくる。絶対に会えるという強い思い。</p> <p>・ ほしいいをかじらないと食べられないくらいちいちゃんの体は弱り始めている。</p> <p>○ 本時学習を振り返り、読み取りプリントに書きまとめる。</p> <p>○ もし自分がちいちゃんだったらどうするのかを考えて発表する。</p>	<p>○ 「深くうなずきました」「また深くうなずきました」から、ちいちゃんがどんなことを願っているのか想像させる。</p> <p>○ 「食べました」→「かじりました」からちいちゃんの体調の変化に気づかせる。</p> <p>○ 自分とちいちゃんの立場を入れ替え、小さなちいちゃんが壊れかかった防空壕の中でたった一人で眠ることがどれだけ怖いことなのかを想像させる。</p> <p>○ 「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」という1文の音読の仕方を考えさせる。</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">似た言葉を比べて読む</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自分が人物だったらどうするか考えて読む。</p>
(3)	<p>○ 一人でかげおくりをするちいちゃんの気持ちを読み確かめよう。</p>		
11 / 17	<p>○ ちいちゃんの気持ちが分かる言葉・文章にサイドラインを引き、自分の考えを書き込む。</p>	<p>○ 4つの白いかげとして家族を見つけたときのちいちゃんの思いを考えさせる。</p> <p>○ 「体がすうっとすきとおって、空にすいこまれていく」から、ちいちゃんの死に気付かせる。</p>	
12 / 17	<p>○ 目が覚めたちいちゃんの様子を読み取る。</p> <p>○ 1の場面(家族4人)と4の場面のかげおくりを比べる</p> <p>○ ちいちゃんの気持ちが分かる言葉や文章をもとに、意見を交流する。</p> <p>・ ふらふらする足</p>	<p>○ 「暑いような寒いような気がしました。」「ひどくのどがかわいています。」をもとに、自分の体験を振り返り、ちいちゃんの体調が悪いことに気付かせる。</p> <p>○ 「青い空からふってくる声」で、お父さんやお母さんたちが死んでいるということや、ちいちゃんの死も近いことを想像させる。</p> <p>○ 「ふらふらする足をふみしめて立ち</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">場面と場面を比べて変化したところを採って読む。</p>

	<p>弱りきっているちいちゃんの体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふみしめて立ち上がる 体が弱っているのに、家族に会いたいという強い思いがちいちゃんを立ち上がらせた。 ・ 数えだしました 絶対に家族に会いたいという気持ちがかけおくりをさせている。 <p>○ 一人ぼっちでかけおくりをするちいちゃんの気持ちをまとめる。</p> <p>・ ちいちゃんはとっても体が弱っていて、家族に会いたくて、絶対に会えると信じて残っている力をふりしぼってかけ送りをしようとした。そして死んでしまった。でも、そこで家族に会えてちいちゃんはうれしかった。</p> <p>○ ちいちゃんの気持ちが分かるように音読する。</p> <p>○ 本時学習を振り返り、読み取りプリントに書きまとめる。</p>	<p>上がる」から、ちいちゃんの家族への思いや、体調が悪化していることを想像させる。</p> <p>○ 家族に会いたいというちいちゃんの気持ちを読み深めさせる。</p>	
	<p>○ 家族に会えたちいちゃんの気持ちを読み確かめる。</p>		
<p>13 / 17</p>	<p>○ ちいちゃんの気持ちが分かる言葉・文章をもとに、意見を交流する。</p> <p>・ ちいちゃんがかけおくりをしている様子を振り返る。</p> <p>○ 家族に会えたちいちゃんは本当に幸せだったのか、話し合う。 ・ 家族に会えたこと、死んでしまったことについての自分の考えを書く。</p> <p>○ 本時学習を振り返り、読み取りプリントに書きまとめる。 (4) 5の場面を読み取る。</p>	<p>○ 「きらきらわらいだしました。」 「花畑の中を走り出しました。」 から、ちいちゃんが家族に会えたことをとてもうれしく思っていることをおさえる。</p> <p>○ 「こうして、小さな女の子の命が、空にきえました。」 から、ちいちゃんだけではなく、同じくらいの年の子どもたちがたくさん死んでいったということに気付かせる。</p> <p>○ 4の場面のちいちゃんのかげおくりは「ちいちゃんがする」かけおくりというだけではなく、「ちいちゃんを空におくる(=死)」かけおくりでもあることに気付かせる。</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 5px;">場面と場面を比べて変化したい」 と意識しよう。</p>

14 / 17	<p>○ 平和になった町の様子からちいちゃんのかげおくりってどんなかげおくりだったのかを読み確かめよう。</p> <p>○ 戦争中（4の場面）と5の場面を比べる。 ・お父さん、遊び、お母さん・お兄ちゃん、町・家、ちいちゃんの命、ちいちゃんの未来・夢</p> <p>○ 平和になった町の様子や子どもたちの様子から、ちいちゃんのかげおくりってどんなかげおくりだったのか確かめる。 「青い空の下」「今日も」「～ぐらいの」「きらきら」 読み通しの目の答え</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>空しゅうでお母さんやお兄ちゃんともはぐれて、ひとりぼっちになってしまったけれど、絶対に会えると信じていたちいちゃんがたった一人のかげおくりをして、家族全員に会えたからちいちゃんにとってはうれしいかげおくり。でも、ちいちゃんの命がなくなっていったかなしいかげおくり。</p> </div> <p>○ 本時学習を振り返り、読み取りプリントに書きまとめる。</p>	<p>○ちいちゃんが戦争によって奪われていったものと、戦争から何十年たった後にあるものを比べ、平和な暮らしが送られていることを想像させる。 ○4の場面の「きらきら」と、5の場面の「きらきら」を比べ、違いを考えさせる。 ○「ちいちゃんのかげおくり」のお話は4の場面が終わっているのに、どうして作者は5の場面を書いたか考えさせる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 場面と場面を比べて変化したことを探し出す。 </div>
味 わ う	<p>15 / 17</p> <p>5. 戦争や平和について書かれた本「おはじきの木」（あまん きみこ作）を聞き、作者が伝えたいことについて話し合う。 ○ 「おはじきの木」の読み聞かせを聞く。 ○ 「ちいちゃんのかげおくり」と「おはじきの木」を読み比べて、作者が伝えたいことについて、分かることに線を引く。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>16 / 17 本 時 3 の 1</p> <p>○ 「ちいちゃんのかげおくり」と「おはじきの木」を読み比べて、作者が伝えたいことについて、イメージマップをつくる。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>17 / 17</p> <p>○ イメージマップをもとに、作者の伝えたいことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつまでも子どもたちが遊べる平和な世の中であってほしい。 ・ ちいちゃんのように戦争で死んでいった子どものことを忘れないでほしい。 ・ ちいちゃんも平和な世の中で長生きしてほしい。 </div>	<p>○ 「ちいちゃんのかげおくり」や「おはじきの木」に共通する作者の伝えたい思いについて考えるために、教師が読み聞かせる。</p> <p>○ 共通点を見つけやすいように、イメージマップで比べさせる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 自分の生活とつないで読む </div>

5. 本時 (10/17) 2組 平成22年10月 日() 校時 場所 教室にて

6. 本時の目標 (10/17)

- ちいちゃんの気持ち分かる言葉を見つけ自分の読み取ったことをもとにして話し合い、防空壕の中でお母さんとお兄ちゃんの帰りを強く信じて待っているちいちゃんの気持ちや様子を読み確かめることができる。
- 叙述からちいちゃんの様子や気持ちを読み取るための技能を身につけることができる。

7. 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、「お母さんとお兄ちゃんを一人でまつちいちゃんの気持ちを読み確かめよう。」というめあてのもとに、学習プリントを使ってちいちゃんの気持ち分かるところに線を引き、気持ちを書き込んでいる。本時は、読み取ったことをもとにして話し合い、防空壕の中でお母さんとお兄ちゃんの帰りを強く信じて待っているちいちゃんの気持ちや様子を読み確かめることと、叙述からちいちゃんの様子や気持ちを読み取るための技能を身につけることをねらいとしている。

1～2の場面では、ちいちゃんのうれしい気持ちや、楽しい気持ち、怖い気持ちや、さびしい、不安な気持ちなどについて、「自分が人物だったらどうするか考えて読む。」という読解するためのスキル等を習得、活用しながら読み確かめてきている。

3の場面で子どもたちは、「一人で家族を待っているちいちゃんの気持ち」について、ちいちゃんの気持ち分かるところにサイドラインを引き、そして、その言葉からどんな気持ち分かるかを書き込んでいる。本時は、書き込みのもとに話し合いを行うため、個人カルテを作って事前に子ども達の考えを把握しておく。

本時指導にあたっては、まず、前時を簡単に振り返り、本時のめあて「お母ちゃんとお兄ちゃんを一人で待っているちいちゃんの気持ちを読み確かめよう。」をつかませ、めあてを考えながら本時場面を音読させる。

次に、自分の書き込みのもとに話し合いをする。「深くうなずきました」「また深くうなずきました」などの叙述を中心に、ちいちゃんの気持ちを発表して交流させ、どれだけ強い思いでお母さんたちを待っていたのかを読み取らせたい。さらに、「食べました」「かじりました」の言葉の違いから、それぞれの行動の違いを比べ、ちいちゃんの待ち続ける思いの強さとは裏腹に、体の状態は悪くなっていると言うことをつかませる。違いがつかみにくそうであれば、ほしいいを実際に提示し、代表児童に「少し食べる」ことと、「少しかじる」ことを表現させ、よりつかみやすくする。

この二点からちいちゃんのお母さんたちを信じて待っている気持ちと、悪くなっている体の様子を読み確かめ、読み確かめたちいちゃんの気持ちをもとに、めあてに対する自分の考えを書かせて発表させ、それをもとに、本時をまとめる。前時で学習プリントに書き込んでいるめあてに対する自分の考えが、より確かになったか、または、どのように変化したか、という点に注目したい。

まとめを終えた後で、もし、自分がちいちゃんだったらどのような行動をとると思うか考えさせ、家族と会えることを切々と願うちいちゃんの気持ちをさらに深くとらえられるようにしたい。

今日の学習では、自分の考えが確かになったわけや変わったわけ、ちいちゃんの気持ちや様子を読み取ることができたのはどのような読解するためのスキルを使ったからか、という視点をもたせて書かせるようにする。最後に、次時の学習について予告し、意欲をもたせる。

8. 本時の準備

児童・・・学習プリント

教師・・・挿絵、ほしいい、短冊カード

9 本時の展開

配時	学習活動と内容	教師の支援	読解スキル の見取り
2	1 前時を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> お母ちゃんとお兄ちゃんを一人で待っているちいちゃんの気持ちを 読み確かめよう。 </div>	○家族とはぐれて寂しく不安な気持ちだったことをおさえて本時のめあてにつなげる。	
2 1 1	2 ○ 3の場面を音読する。 2 ちいちゃんの気持ちがわかる叙述をもとに、話し合う。 ○ なくのをやっところえて言いました。「おうちのどこ。」 ・お母さんたちは、いるんだと信じている。 ○「深くうなずきました」 ・お母ちゃんたちが帰ってくると思っている。 ・「深く」…本当に帰ってくると信じている。 ・お母ちゃんたちに会いたい ○「また深くうなずきました」 ・さっきよりもっと大きくうなずいている。 ・絶対に帰ってくると強く思っている。 ・おばさんがいなくなっても一人ぼっちでも家から離れないから絶対にここに帰ってくると信じている。 ○ 「きっと帰ってくるよ」 ・かならず帰ってくると信じている。	○前時では、叙述を子どもに選ばせて、そこから分かる気持ちなどを書かせておく。 ○前時の子ども達の書き込みをカルテにしておく。 ○ちいちゃんの思いが強くなっていることに気づかせるために、「深くうなずきました」と「また深くうなずきました」を比べて考えさせる。 ○2つの「深くうなずきました。」の違いに気づくために、前のおばさんの叙述とつないで考えさせる。 ○会いたいと思う気持ちの強さをつかむために、言葉を比べたり、つないだりしながら考えさせる。	
3	3 「食べました」「かじりました」を比べて考える。 ・少しずつかじって生きようとしているから、お母ちゃんたちが帰ってくると信じている。 ・絶対に生きてお母ちゃんに会いたいのだと思う。 ・体が少しずつ弱っているのかもしれない。	○ちいちゃんの体が弱っていることをつかませるために、戦時中は日頃から食べ物になかったこと、空襲にあってから、ちいちゃんはまだ二日ほとんど食事をとっていないことを振り返らせる。 ○ちいちゃんの体が弱っていることをつかむために、必要であれば、動作化を通して「食べる」と「かじる」の意味の違いを考えさせる。	・似た言葉を比べて読むことで、体が弱っていることや、お母さんに会いたいという気持ちを読み取っているか。
1 0	4 めあてに対する自分の考えを書き、発表する。		

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ちいちゃんは、こわくても、さびしくても、不安でも、おなかがすいても、体が弱っていても、お母さんとお兄ちゃんはきっと帰ってくる、ぜったいに会えるという強い気持ちでまっている。 </div>		
5	6	もし自分がちいちゃんだったらどうするかを考える。	○ちいちゃんの気持の強さをつかむために、自分の考えと比較させる。
10	5	今日の学習を振り返る。 ○ 「今日の学習で」を書く。	・自分と比べながら読むことで、一人で家族を待っているちいちゃんの気持ちに気付き、読みの深まりが、感想の中に現れているか。
2	6	次時の学習を知る。	○4の場面の書き込みをすることを知らせる。

